

平成 19 年度 神戸大学海事科学部 体験型海洋セミナー 実施報告

2007年8月23日～24日、神戸大学海事科学研究科附属練習船「深江丸」において、平成19年度体験型海洋セミナーが開催された。本セミナーは、小学校の5、6年生を対象に船と海に関する学習と船内での集団生活を通して、科学的興味の喚起と自主性と協調性の育成を目的として行われ、本年度で9回目となる。前日夕刻から当日早朝にかけて激しい雷雨に見舞われて実施期間中の天候が心配されたが、開講式が始まる頃には雨も上がり、静穏な海象に恵まれた航海の中でのセミナーの実施となった。本セミナーは毎年人気が高く、本年も135名の応募があり、抽選で選ばれた30名が1泊2日のセミナーに参加した。



本年の学習プログラムは、(1)船の浮くわけと安定性、(2)船と星の関係をテーマとし、簡単な実験と星座早見盤の作成、夜間のデッキ上での天体観測などを交えた、多彩な展開を試みた。また、航海も神戸から坂出港、瀬戸大橋までの往復という比較的航海時間の長い行程を選び、航路見学や船橋・機関室の当直をじっくり行うことができるよう工夫をした。さらに、救命胴衣をつけての退船訓練や心肺蘇生方法の指導など日常生活とは異なる体験とともに、規律正しい生活や食事の準備と後片付けなどの自主性の育成プログラムも加味し、参加者にとっては充実した2日間となったと思われる。

深江丸を利用した1泊2日のプログラムは、青少年の啓蒙活動の観点からはインパクトの強いプログラムであるが、安全確保の観点からは多くの学生スタッフなしには実施が難しく、経費の面からも負担が大きい。本セミナーは、海事科学部が社会貢献の一環として主体的に実施をしているが、日本船舶海洋工学会ならびに海事科学振興財団から多大な支援をいただき、はじめて実施が実現している。ここに関係各位に深く感謝する。

